

異文化コミュニケーション

科目ナンバリング JLE-201
選択必修 2単位

日野 純子

1. 授業の概要(ねらい)

自分とは異なる文化、背景をもつ人たちとどのようにかわるかというグローバル社会の一員として、最も基本的なことについて、実践的に学んでいくクラスです。多様性が進む現在、外国籍の人だけでなく、様々な価値観や考え方の違いを持った人とお互いに尊重しながら生活していくことが求められる社会です。最初に、「文化」「ことば」「コミュニケーション」などについての基本的な概念を理解したあと、自分とは異なる背景を持つ人たちと円滑に意思疎通をし、誤解や問題が生じた場合の解決方法について、実践を通して学びます。

2. 授業の到達目標

- (1)「文化」「ことば」「コミュニケーション」などについての基本的な概念を理解する。
- (2)自分とは異なる文化や背景を持つ人達と円滑に意思疎通するためにはどうしたらよいかについて実践を通して自分の答えを見つける。
- (3)異文化間コミュニケーションにおける誤解や問題が起きた際の対処方法を理解する。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)平常点(授業への参加、ワークシート、課題への取り組み)50%
- (2)振り返りの小テスト×2、最終プレゼンテーション(またはテスト)50%
正当な理由なく5回以上、欠席した学生には単位を与えられません

4. 教科書・参考文献

教科書

原沢伊都夫 『グローバルな時代を生きるための異文化理解入門』 研究社

5. 準備学修の内容

このクラスでは、教員による講義だけでなく、ペアやグループでの話し合いや個人での作業をしながら学んでいきます。その準備として、指定された教科書の章や参考文献を事前によく読んだ上で授業に参加しなければなりません。コミュニケーションに関することばやジェスチャーを使った活動も行います。これらの作業の結果や自己分析を毎回、ワークシートに記入して授業の最後に提出しますので、クラスメートとよく協力し、積極的に参加する姿勢が求められます。

6. その他履修上の注意事項

- (1)各自、真摯な態度で授業や課題にのぞみましょう。
- (2)遅刻、早退、欠席は避けましょう。
- (3)第1回目の授業には、必ず出席してください。
- (4)グループやペアでの作業には、相手を尊重しつつ積極的に参加しましょう。
- (5)大学での学びは、教員から一方的に与えられるものではありません。一人一人が他者に配慮をしながら、積極的に授業に参加することでよいクラスになり、みなさんの学びと成長につながります。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | オリエンテーション、グループ分け。クラスメートやグループのメンバーを知る |
| 【第2回】 | 文化とは何か。定義、アイデンティティ |
| 【第3回】 | コミュニケーション(能力)とは何か |
| 【第4回】 | ことばとは何か。日本語はどんな言語か |
| 【第5回】 | ことばと文化の関係性 |
| 【第6回】 | 振り返りの小テスト(1)。異文化とは何か。 |
| 【第7回】 | 非言語コミュニケーション(ジェスチャー、笑い、沈黙) |
| 【第8回】 | 対人距離・時間の感覚の文化差 |
| 【第9回】 | 異文化理解、誤解、失敗(事例から アイデンティティ) |
| 【第10回】 | 異文化理解、誤解、失敗(事例から2 宗教) |
| 【第11回】 | 振り返りの小テスト(2)。異文化コミュニケーションスキルの実践1(DIE法、アサーティブ) |
| 【第12回】 | 異文化コミュニケーションスキルの実践2(あいづち、エポケー) |
| 【第13回】 | 高齢者や障がいのある人・マイノリティの人たちとのコミュニケーション |
| 【第14回】 | 外部講師の話(異文化体験と異文化理解) |
| 【第15回】 | まとめ・復習と最終テスト(またはプレゼンテーション) |